

取付設置説明書

ビルトインオーブン [システムキッチン用]

家庭用

ガス機器防火性能評定品

型 式	タ イ プ
PCR-520C-N	高速オーブン
PCR-520E-N	電子レンジ機能付きオーブン

工事される方へおねがい

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「取付設置説明書」をよくお読みになって指定された設置を行ってください。
- 設置工事が終わりましたら、**8 設置工事後の点検確認**のチェックリストに従い、必ず再確認を行ってください。
- 設置終了後は、この「取付設置説明書」を「取扱説明書」とともに必ずお客さまにお渡ししてください。
- 誤って不適応なビルトインコンロと接続された場合、重大な事故の原因になります。この機器は、必ず当社指定のビルトインコンロと接続してください。もしオーブン単独で使用されますと、ビルトインコンロとの接続用フレキ管のゴムキャップ部からガス漏れしたり、機器の排熱によりキャビネットが損傷するなどの事故の原因となります。

目次

	ページ
1 安全に正しく設置していただくために	2~4
2 寸法図	5
3 設置前のご注意	5
4 設置場所の確認	6~7
5 電気配線工事	8~9
6 ガス配管工事	10
7 機器の設置	11~15
8 設置工事後の点検確認	裏表紙
9 試運転	裏表紙
10 お客さまへの取扱説明	裏表紙






58324860001

1 安全に正しく設置していただくために

機器を安全に正しく設置していただくためや、工事される方や使用される方への危害、財産への損害を未然に防ぐため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよくご理解いただいてから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容は、次の絵表示がしてあります。



分解禁止



禁止



必ず行う



換気必要



アース
する

とくに注意していただきたいこと、安全のために必ずお守り下さい

危険



分解禁止

■絶対に分解・修理・改造は行わない

電源コードの直付けなど、設置工事で必要なところ以外は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。

一酸化中毒のおそれがあります。また電波漏れ*・ガス漏れ・感電・火災・けが・作動不良の原因になるおそれがあります。

※印は電子レンジ機能付きオーブンのみに該当する危険・警告・注意事項です。

警告



必ず行う

■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「取付設置説明書」をよく読み、指定された設置を行う



必ず行う

■設置は必ず、この「取付設置説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な設置をすると事故や火災の原因となります。



必ず行う

■ガス配管工事は専門の資格・技術が必要です。

機器へのガス配管接続工事・取り外し工事は、液化石油ガス設備士かガス供給事業者の指定工事店などによる有資格者が行ってください。（10ページ参照）



必ず行う

■電気配線工事は、電気設備技術基準など、関連する法令・規則などに従って、必ず「法的有資格者」が行う

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

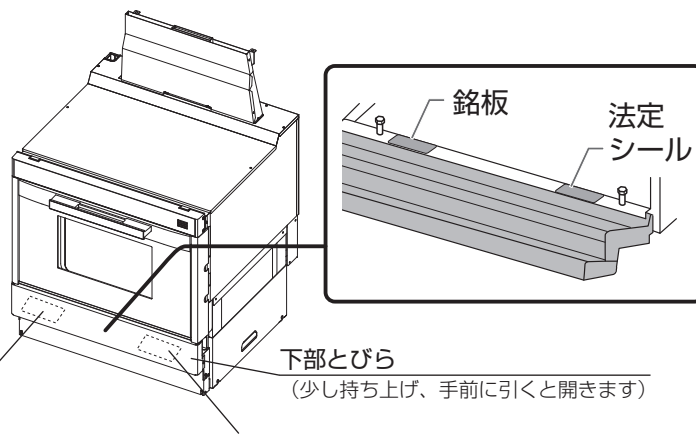
⚠ 注意



必ず行う

■設置する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)及び使用する電源(電圧・周波数)に適合していることを銘板と電気用品安全法型式区分にて確認してください

合っていない場合そのまま使用すると火災や不完全燃焼や感電の原因となります。銘板は、本体土台部分と下部とびら裏側に貼ってあります。下部とびらを開いてお確かめください。



〈例〉銘板

品名: DR601FST	4.53 kW
PCR-520E-N	P
L Pガス用	
** * * * - * * * * * *	

製造番号 ガス消費量

← ガスの種類 およびグループ
例)・都市ガス用 13A・12A
・LPガス用

〈例〉電気用品安全法型式区分

コンビネーションレンジ	
PCR-520E	
定格電圧	100V
定格周波数	50-60Hz
定格消費電力	1100W
定格高周波出力	500W

図はDR601FSTを表します。



必ず行う

■建築基準法、各都市の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従う

誤って不適切なビルトインコンロと接続された場合、重大な事故の原因になります。この機器は、必ず指定のビルトインコンロと接続してください。もしビルトインオープン単独で使用されますと、ビルトインコンロとの接続用フレキ管のゴムキャップ部からガス漏れしたり、機器の排熱によりキャビネットが損傷するなどの事故の原因となります。

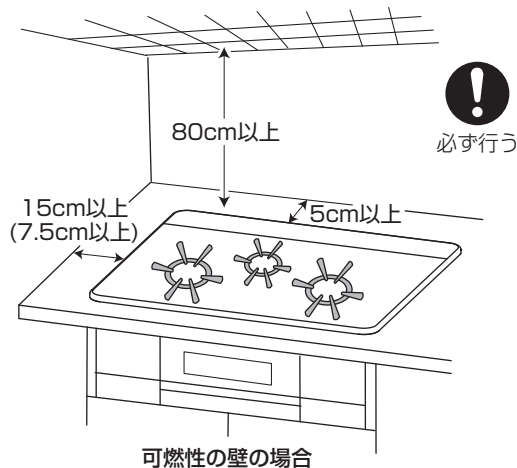


必ず行う

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例により、機器周囲の可燃物からの距離が定められています。可燃物からの離隔距離については、**4 設置場所の確認**に従ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けでご使用になっても、熱伝導がよいため長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

※ () 内の寸法は、トッププレート幅75cmタイプの場合です。



⚠ 注意



必ず行う

■この機器は家庭用の調理以外の用途に使用できないため、用途を確認して設置する
火災や不完全燃焼、機器の故障など思わぬ事故の原因になります。



禁止

■業務用として使用しない

この機器は一般家庭用です。業務用として使用すると、機器の寿命が極端に短くなり、機器の故障など思わぬ事故の原因になります。



必ず行う

■キャビネットを背板などでふさぐ

ビルトインコンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。ビルトインコンロ後方がふさがれていないと、ビルトインコンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があり、炎がゆらいだり、炎がもぐりこんだり、火が消えたり、不完全燃焼することがあります。



換気必要

■十分な換気設備がある場所に設置する

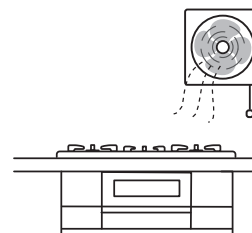
この機器はレンジフードファンや換気扇などでの換気が必要です。

設置するガス機器および同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。

ただし、室内給気式（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンなどを回すと燃焼排ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。該当給湯器などの同一室内への設置は避けてください。



換気必要



必ず行う

■工事内容に応じた安全策を講じて作業を行う

けが防止のため、手袋を着用し作業を行ってください。

工事内容に応じて安全靴・安全帽などの安全策を講じてください。

おねがい



禁止

■機器本体をタイルやモルタルで、塗り込まないでください

■表面がニス引きのものは、変色するおそれがあるので、使用しないでください



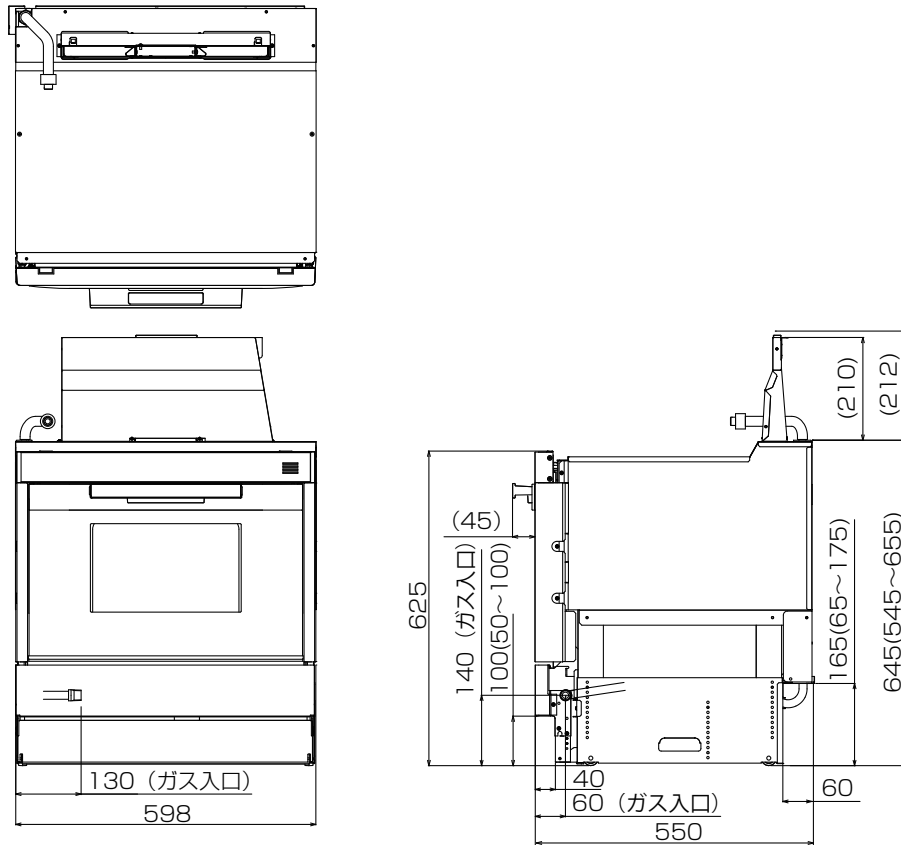
必ず行う

■耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところを選んでください

■ワークトップ材は、熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・6903）またはこれと同等以上の材料をお使いください

2 寸法図

(単位：mm)



3 設置前のご注意

■ 同梱部品の確認

次の部品が同梱されています。不足のないことを確認してください。

部品名	個数	備考	部品名	個数	備考
オープン皿 (角皿)	2		クッキングレシピ	1	
ターンテーブル (丸皿)	1		取扱説明書 (保証書付) 取付設置説明書	各1	
焼き網	1		ターンテーブル台	1	
オープン皿取手	1		下部とびら	1	
接続管B	1		冷却風ガイド ビルトインオープン 排気筒	各1	
Oリング (予備)	1	 (ビルトインコンロ との接続用 ガスフレキ管に貼付け)	クイックファスナー	2	

4 設置場所の確認

機器を設置する場所には、建築基準法、ガス事業法、液化石油ガス法および各地の火災予防条例上、以下の制約がありますので、それぞれに適合した場所に設置してあることをご確認ください。

- 火災予防条例により、機器周囲の可燃物（ステンレス板やタイルなどを貼り付けた可燃性の壁も含む）から機器のトッププレートより上の側方は、60cmタイプ：15cm以上、75cmタイプ：7.5cm以上、後方は5cm以上、上方は80cm以上離してください。（下図参照）

（注）ステンレス板やタイルなどを可燃性の壁に直接貼り付けた場合にも熱伝導がよいため、長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがありますので必ずお守りください。なお、図の離隔距離で安全性は確認してありますが、所轄の消防署の指示する火災予防上安全な距離を保ち設置してください。

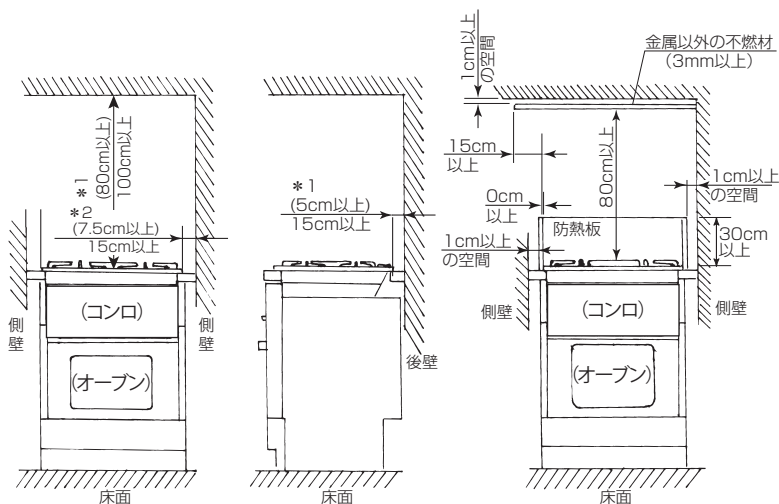
以上の離隔距離を守れない場合は、別売部品の防熱板を取り付けてください。

上方は金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を下図のように取り付けてください。

- ビルトインコンロに同梱されている「取付設置説明書」を参照し、トッププレートから後方の可燃物との距離を確認し、ビルトインコンロと高速オープン等の両方を満足する距離を確保して、設置してください。

●可燃物からの離隔距離（cm）

トッププレート幅	上方	側方	前方	後方
60cmタイプ	80以上	15以上	15以上	5以上
75cmタイプ	80以上	7.5以上	15以上	5以上



*1 ()寸法は可燃物からの近接設置が認められている距離です。

*2 ()内寸法は、トッププレート幅75cmタイプの場合です。

※ ビルトインコンロが()寸法に設置可能か、確認をしてください。

注意



必ず行う

- 設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談してください。
- 燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例に定める防火措置を施す必要があります。
- この機器を設置する台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 水平で安定した場所に設置してください。
※設置場所の詳細は、ビルトインコンロ側の取付設置説明書も参照してください。
- 十分に換気のできる場所に設置してください。
- 保守メンテナンスをする場所が確保されていることを確認してください。
設置後にトラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたすことがあります。
- 機器設置時は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置してください。



禁止

- 車両・船舶には設置しないでください。
- 水のかかる場所は、部品の故障、ガラスの破損や漏電の原因になりますので、避けてください。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着材など）や、業務用薬品（アンモニア・硫黄・塩素・エチレン化合物・酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しないでください。



禁止

- 湯わかし器や樹脂製の照明器具の下へ設置しないでください。
- 強い風の吹き込む場所に設置しないでください。
点火しなかったり、燃焼途中で消火することがあります。
- 棚の下など落下物のある場所には設置しないでください。
落下物に引火して火災となることがあります。
- 機器の排気口や給気口を塞ぐような場所に設置しないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因となります。
- テレビやラジオ等の雑音や映像の乱れを防ぐ為、テレビ、ラジオは機器の近くに置かないでください。

警告



■テレビやラジオなどを機器の近くに置かない

必ず行う

■アース工事

警告



■アースは必ず取り付ける

故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

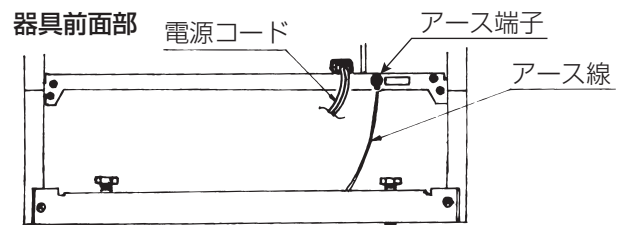
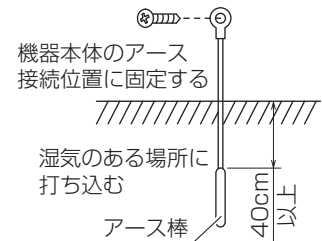
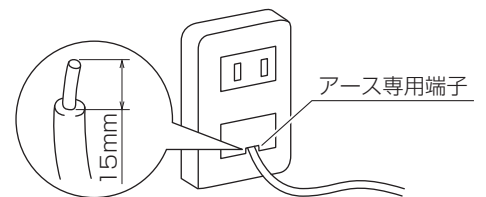
アースする

〈アース端子付コンセントがある場合〉

コンセントにアース専用端子が設けられている場合は、アース線先端の皮をむき芯線（銅線）をアース端子に固定してください。

〈アース端子付コンセントがない場合〉

アース棒（別売部品）によるアース工事を行ってください。ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路または漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路に接続しないでください。（法令などで禁止されています。）



〈湿気や水気のある場所で使用する場合〉

D種接地工事（第3種接地工事）〔接地抵抗100Ω以下〕をするよう義務付けられています。必ず電気工事店に依頼して取り付けてください。

* 湿気の多い場所

例：うどん屋さん、そば屋さんなどのように水蒸気の充満した場所



：土間、コンクリート床の場所
アースする：酒、しょうゆなどの醸造又は貯蔵する場所

* 水気のある場所（この場合は、漏電遮断器の取り付けについても義務付けられています。）

例：魚屋さん、八百屋さんの作業場などの水を取り扱う場所



：水滴が飛散する場所
アースする：地下室のように水が漏出したり、結露する場所

6 ガス配管工事

警告



必ず行う

■ガス配管の接続および取り外しには、専門の資格・技術が必要です

ガス配管接続工事については、ガス供給事業者の指示に従ってください。

・都市ガスの場合、金属管・金属可とう管または機器接続ガス栓を用いてガス機器を接続する工事は、供給元のガス事業者がその技能を認めた者が行ってください。

専門の資格には、GSS（ガス機器設置スペシャリスト）・ガス可とう管接続工事監督者・簡易内管施工士・内管工事士があります。

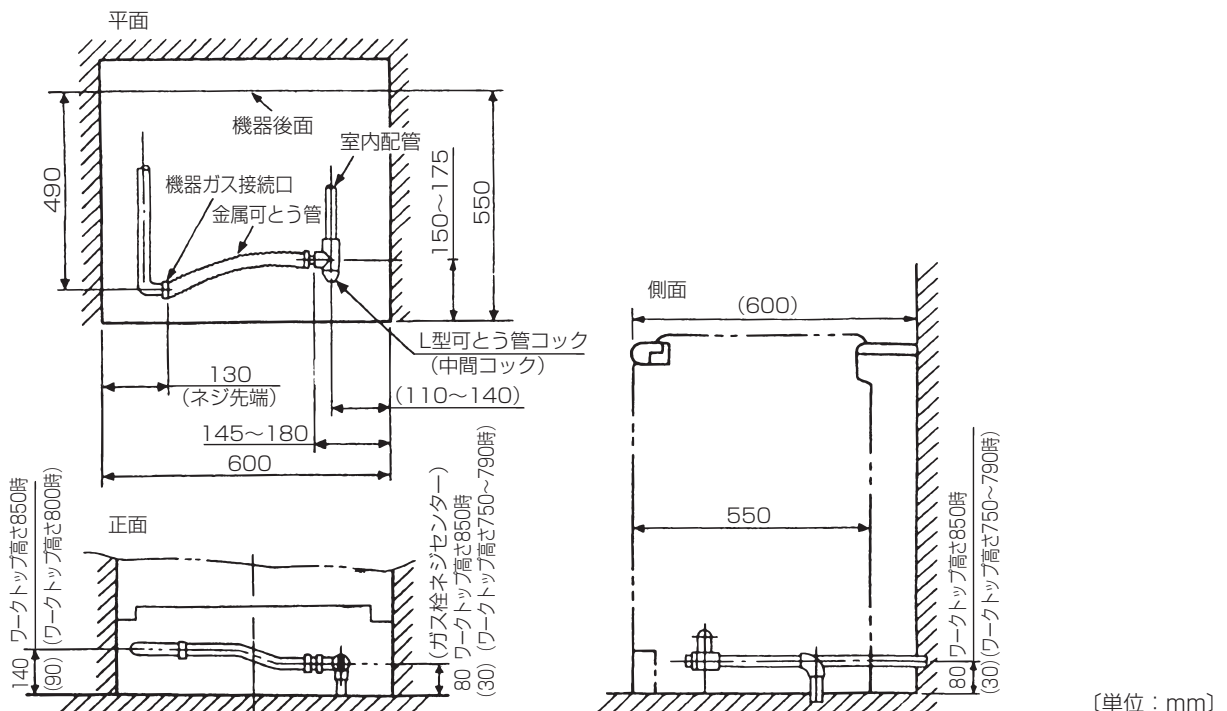
・LPガスの場合、金属管・金属フレキシブルホースまたは機器接続ガス栓を用いてガス機器を接続する工事は、液化石油ガス設備士の資格が必要です。

なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

- 接続の際はガスシール材を必ず使用してください。
 - ガス栓を必ず取り付けてください。
 - 接続完了後、ガス漏れのないことを確認してください。
 - ガス接続は、金属可とう管（金属フレキシブルホース）または機器接続ガス栓で接続してください。
 - ガス配管と機器の接続口は、中心を合わせて接続してください。
- 以上を守りませんと、ガス漏れや火災、機器が破損することがあります。

- ガス栓（中間コック）は、標準配管施工例に従って取り付けてください。機器を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない（位置口径）場合は、新設または交換願います。
- ガス接続部は、R1/2ネジになっています。
- 金属管を用いて接続する場合は、機器とガス配管の接続は、必ず金属可とう管接続にしてください。

●配管施工例

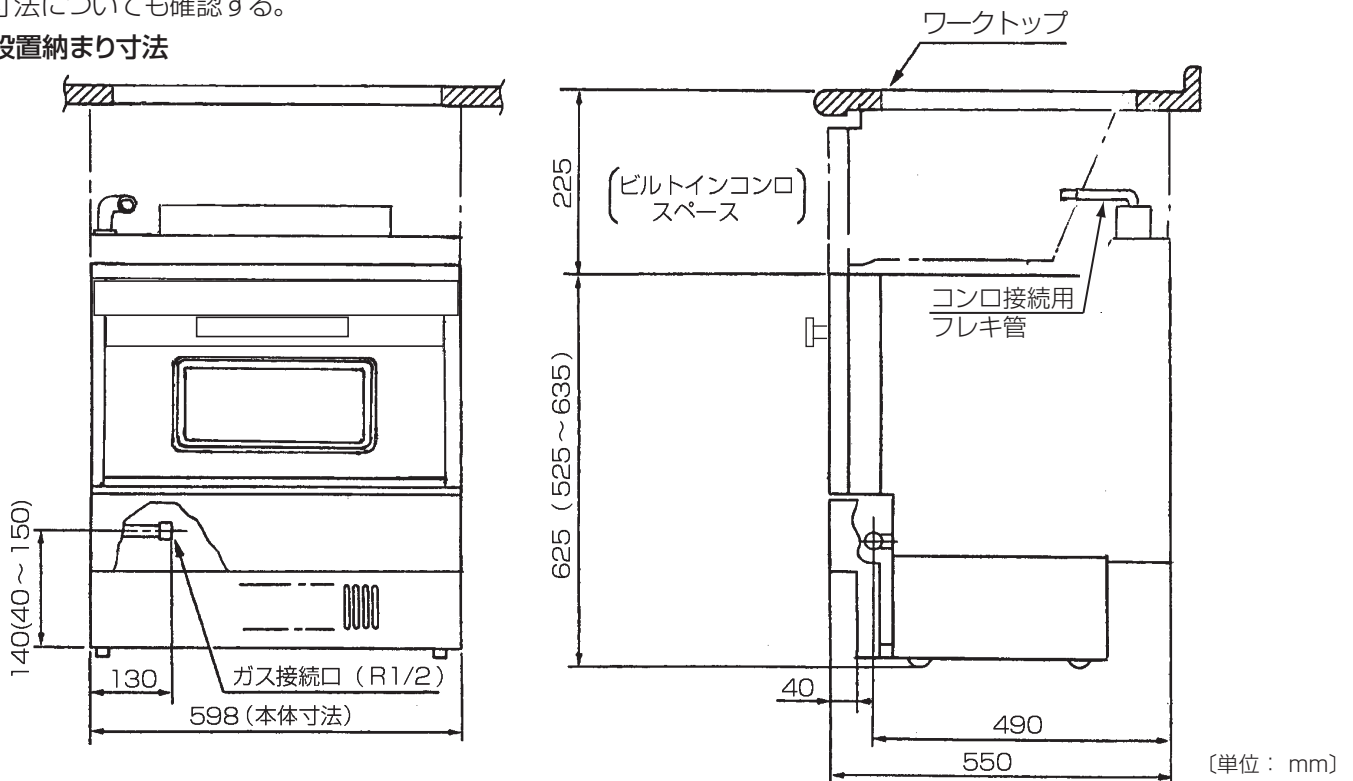


〔単位：mm〕

7 機器の設置

● 機器を設置するスペースおよびワークトップの寸法および開口部寸法の確認また床面からワークトップ上面までの寸法についても確認する。

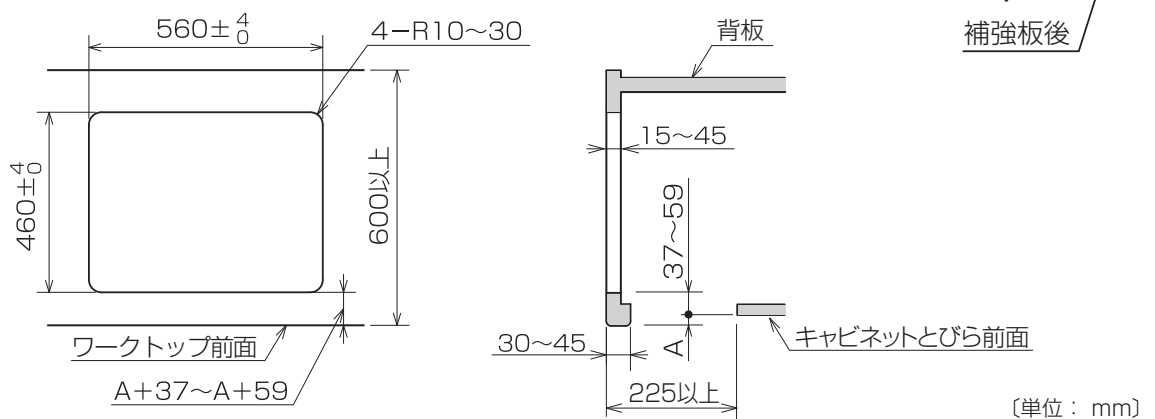
■ 設置納まり寸法



■ 機器の設置

1. 前後にある補強板の取り外し
(補強板前・後は、輸送時の補強部品で設置後は不要です。)
2. 機器高さの確認
・ 設置面からワークトップ上面までの高さを確認してください。
(出荷時の高さは850mmに合わせてあります。またビルトインコンロのスペースは225mmとしております。)
・ 機器に組み付けしているコンロ接続用フレキシ管は右図のようにあらかじめ曲げておいてください。

3. ワークトップに組み込む寸法



⚠ 注意



必ず行う

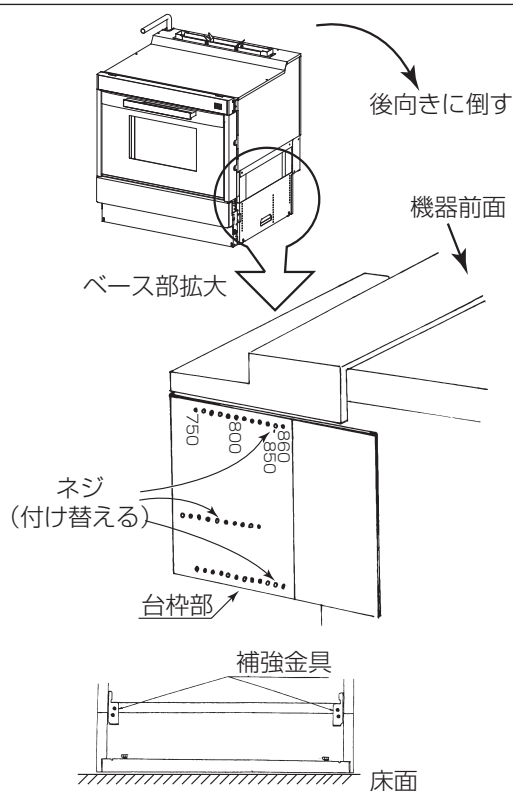
■設置作業にあたっては、ケガなどしないよう手袋や作業服を正しく着用してください。

4. 機器高さの調節

〔ご注意〕

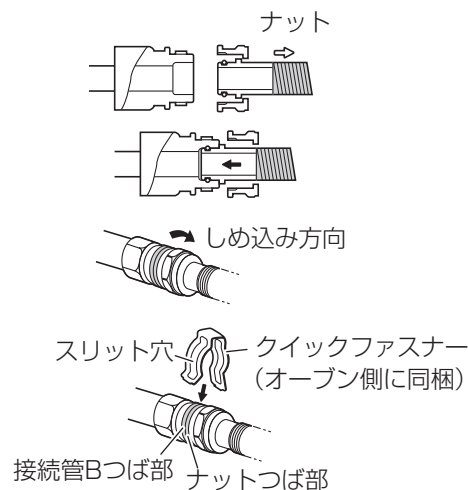
機器を倒したり、立てたりする場合、床面などにキズをつけないよう注意してください。

- ・2で確認した高さが850mm以外の場合は、高さの調節をしてください。
(750~860mmの間10mm間隔で調節できます。)
- ・機器を後ろ向きに倒して締め付けビス6本（両側面各3本）を調節したい位置につけかえて固定してください。
- ・台枠部の刻印は、ワークトップ上面までの高さ寸法を表示しています。
- ・高さ750mmに調節する場合は、台枠部の調節の他に補強金具の取り外し（締め付けネジは、元通りに締め付けてください。）を行ってください。
- ・固定が済んだら、機器を元通り立ててください。



5. 接続管Bの取り付け

- 1.コンロ接続用フレキ管のナット部を矢印方向へ移動させる。
- 2.挿入部を接続管Bと平行に奥まで確実に挿入する。
- 3.手じめで接続管のナットを回し、ナットつば部と接続管Bつば部が合うまで締め込む。
- 4.ナットと接続管Bの両方のつば部がクイックファスナーのスリット穴に入るようにクイックファスナーをはめ込む。
※クイックファスナーはナットのゆるみを止めるものでクイックファスナーのスリット穴の中に接続管Bとナットのつば部が入っていることを確認してください。

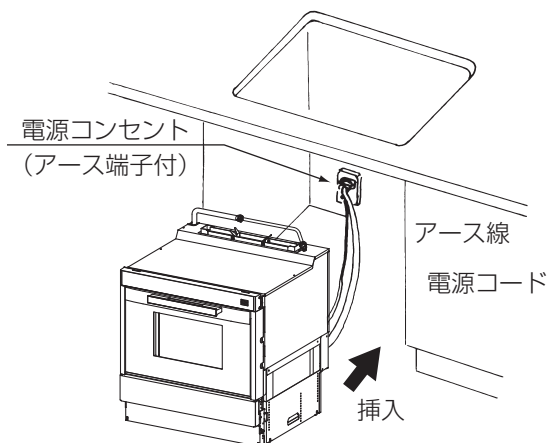


6. 機器の挿入

- ・電源コード・アース線を電源コンセントに接続して床面にはわしてください。
- ・機器をキャスターでスライドしてワークトップ内に挿入してください。このとき電源コードは絶対にキャスターで踏まないようにしてください。

〔ご注意〕

機器を設置するときは、床面などにキズをつけないよう注意してください。



7. ビルトインコンロ側の準備

お願い



必ず行う

■ビルトインコンロの構造は、機器により仕様が異なりますので、ビルトインコンロの取付設置説明書を参照いただき作業を行ってください。

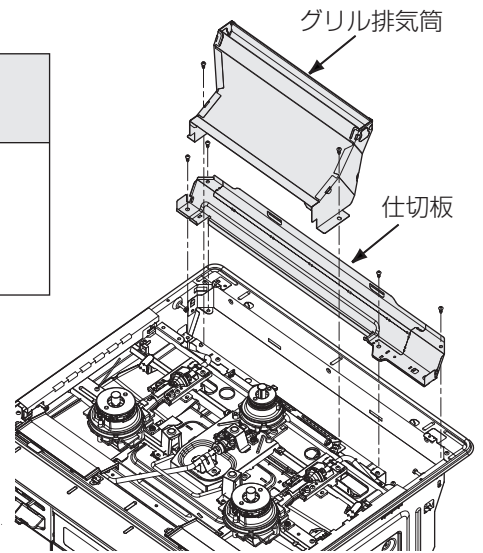
①グリル排気筒および仕切板の取り外し

- ・ビルトインコンロ部のグリル排気筒と仕切板を取り外してください。
- ※機器によって取り外す固定ネジの本数が異なりますのでご注意ください。

②閉塞栓の取り外し

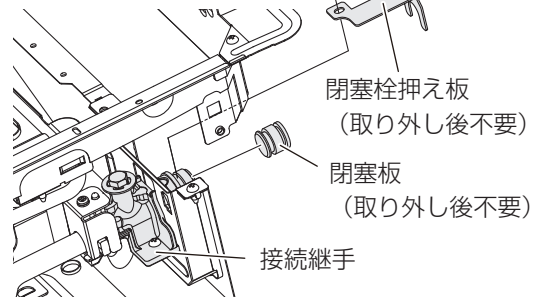
- ・ビルトインコンロ右後部にあるガス接続口の閉塞栓押え板を取り外し、閉塞栓を外してください。

(取り外した閉塞栓押え板および閉塞栓、
閉塞栓押え板取付ネジは不要です。
(閉塞栓押え板取付ネジ 1本)



ビルトインコンロがAC100V電源を使用している場合

- ・カウンターにキズをつけないように段ボール等を敷き、その上にビルトインコンロ部を乗せて作業を行ってください。
- ・ビルトインコンロの電源(AC100V)は、ビルトインオープン本体の後方を引きまわして電源コンセントに接続してください。

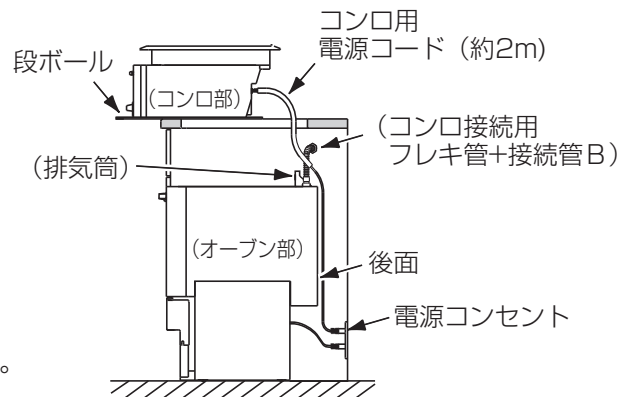


注意



必ず行う

■ビルトインコンロの電源コードがビルトインオープンの底面および側面部へかみ込んでいないか確認してください。電源コードが損傷し、感電や火災の原因となります。



8. ビルトインコンロとビルトインオープンの接続

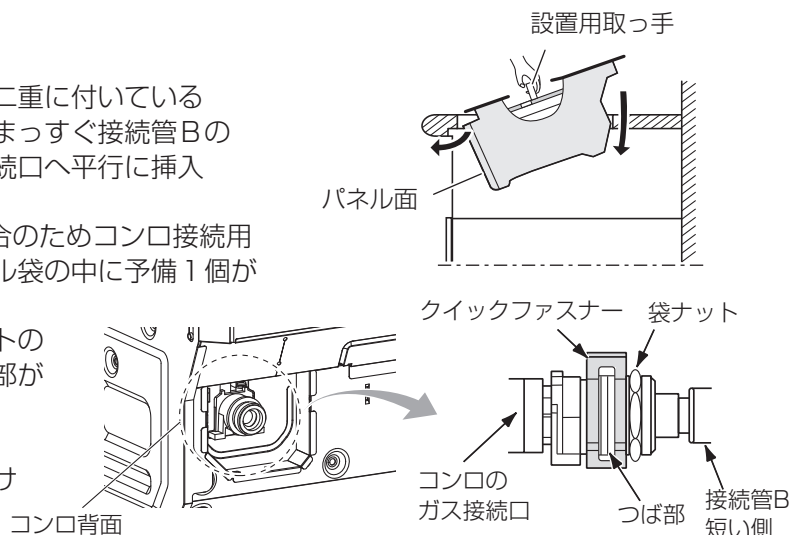
①ビルトインコンロの挿入

- ※ビルトインコンロの取付設置説明書に従い設置してください。

お願い 必ず設置用取っ手を持って作業してください。

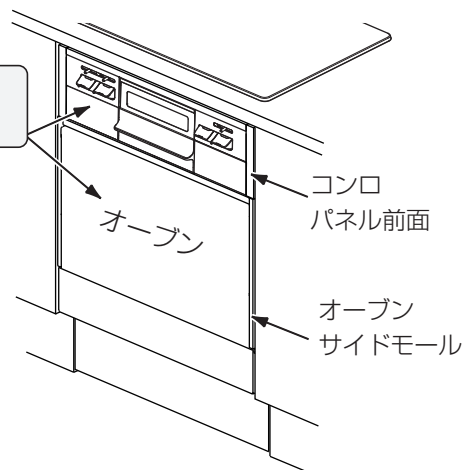
②ビルトインコンロのガス接続

- ・付属の接続管Bの短い側の先端にOリングが二重に付いていることを確認し、Oリングがかみ込まないようにまっすぐ接続管Bの先端をビルトインコンロ右後部にあるガス接続口へ平行に挿入して奥まで差し込んでください。
- ※Oリングはキズついたりなくしたりした場合のためコンロ接続用ガスフレキ管の先端を保護していたビニール袋の中に予備1個が入っています。
- ・接続管Bの袋ナットを手じめで回し、袋ナットのつば部とビルトインコンロガス接続口のつば部が当たるまで締め付けてください。
- ・両方のつば部が付属のクイックファスナーのスリット穴に入るようはめ込んで接続部の抜け止め防止を行ってください。



- ③ビルトインオープン排気筒取り付け前の確認
 ・キャビネットのとびら前面とビルトインオープンの
 サイドモールおよびビルトインコンロのパネル前面
 が同一面になっていることを確認してください。

キャビネット
 前面と合わせ



警告



必ず行う

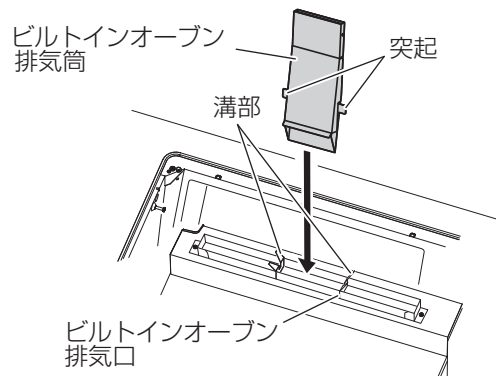
■ビルトインオープン前面とビルトインコンロ
 前面が同一面になっていない場合は、ビルト
 インオープン排気筒の取り付けが正しくでき
 ません。必ず前面を同一面に合わせてくださ
 い。ビルトインオープンの排気があふれる
 原因になります。

作業手順

説明図

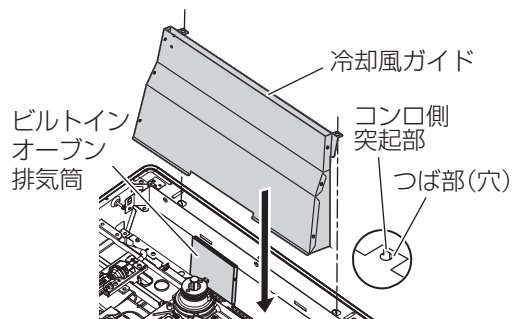
- ④ビルトインオープン排気筒の取り付け
 ・同梱のビルトインオープン排気筒をビルトインオープンの
 排気口にしっかり差し込む。ビルトインオープン排気筒の
 左右にある突起がビルトインオープン排気口にある溝部に
 当たるまで差し込む。

※イラストはわかりやすくするために、コンロ内の部品を
 削除しています。

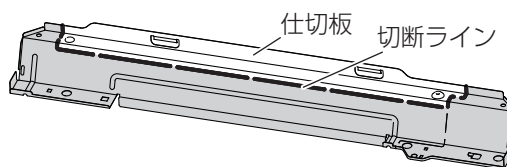


- ⑤冷却風ガイドを接続管Bと接触しないようにして、
 ビルトインオープン排気筒の上からビルトインオープンの
 排気口に差し込む。冷却風ガイドの左右後部のつば部（穴）
 をコンロ側突起部に差し込む。

※取り付け完了後、ビルトインオープン排気筒と冷却風ガイド
 が正しく装着されているか目視で確認してください。

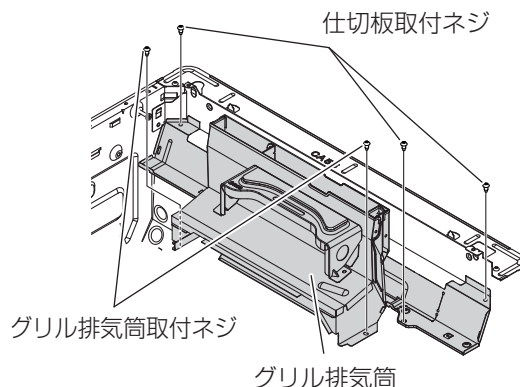


- ⑥仕切板を切断ラインに沿って、ニッパーで切り取る。
 《仕切板から切り取った部分は不要。》



- ⑦元通りに仕切板（ネジ3本）、グリル排気筒（ネジ2本）
 を取り付ける。

※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。



お願い



必ず行う

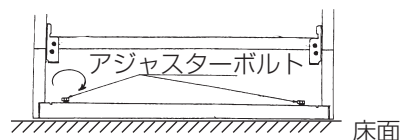
■コンロ部は、ビルトインコンロの
 取付設置説明書を確認して正しく
 施工してください。

9. 設置後の点検確認

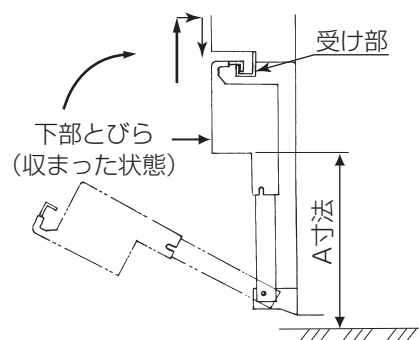
- ①ビルトインオープン・ビルトインコンロの取付設置説明書に記載のチェックリストにもとづいて確認してください。
- ②ワークトップからビルトインコンロ部が浮き上がっていないか確認してください。
設置状態が悪い場合は、ビルトインオープンの機器高さを調節してください。
- ③ビルトインオープンの前面左側下部の検圧口（向かって左側）を使ってガス漏れがないことを確認してください。

10. 機器の移動防止

- ・ビルトインコンロと接続した後、機器の移動防止を行ってください。（ビルトインコンロとの接続の詳細は、ビルトインコンロ側の取付設置説明書を参照）
- ※床が堅い場合や、機器の固定が不安定な場合はすべり止めゴム（別売部品）を取り付けてください。
- ・アジャスターボルトは、床に触れてから一回りをめやすく締めてください。



矢印のように移動し受け部に当たった後、持ち上げて奥へ移動し下げます。



11. 下部とびらの高さ調節

- ・下部とびらは、ワークトップ迄の高さ850mmのときA寸法は、100mmになっています。ワークトップ迄の高さにより下部とびらの高さを調節します。調節する場合、下部とびら調節要領図を参照願います。（ワークトップ高さ810mm,800mmの場合は、外カバー有無によりA寸法を2通りに調整することが出来ます。）
- 下部とびらの高さ調節後、右図のように本体に取り付けてください。

・下部とびら調節要領図

●ワークトップ迄の寸法800～860（下部とびら外カバー付きでの調整範囲 10mm間隔）

ワークトップ迄の寸法(mm)	860	850 (出荷状態)	840	830	820	810	800
A寸法(mm)	110	100	90	80	70	60	50
・下部とびら外カバー付 ・締め付けビス②を取り外し、高さ調節をします。							

●ワークトップ迄の寸法750～810（下部とびら外カバーを取り外した調整範囲 10mm間隔）

ワークトップ迄の寸法(mm)	810	800	790	780	770	760	750
A寸法(mm)	110	100	90	80	70	60	50
・締め付けビス①を取り外し、下部とびら外カバーを取り外す。							

8 設置工事後の点検確認

●設置工事が終わりましたら、下表をチェックしてください。

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
機器の適合	銘板（ガス・電源）は、使用するガス種・電源（電圧・周波数）と適合していますか。	①	
機器およびその周辺	可燃物との離隔距離および火災予防上の措置は十分ですか。	① ④	
	保守・管理上の空間は確保されていますか。	④	
	機器は水平・安定に設置されていますか。	④	
	十分換気できる場所に設置されていますか。	① ④	
電気工事	電気配線工事は指定された工事がされていますか。	⑤	
	電源コンセントは、専用回路になっていますか。	⑤	
	アース線の接続は確実ですか。	⑤	
ガス配管工事	配管径は規定寸法より細くないことを確認してください。	⑥	
	配管は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	⑥	
ラベル貼付	接続具の設置者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けていますか。	—	
付属部品	部品に不足がなく、機器に正しく取り付けられていますか。	③	
その他	オープン庫内に梱包部材などが残っていませんか。	—	

9 試運転

●取扱説明書に基づき試運転を行ってください。

●試運転が終わりましたら、すぐ使用しない場合は、ガス栓（中間コック）を閉め、電源プラグをコンセントから抜いてください。

10 お客さまへの取扱説明

①必ず取扱説明書に従って機器の取り扱い方法を説明してください。

②必ず取扱説明書の裏表紙の保証内容を説明してください。

また、取扱説明書と取付設置説明書はともにお客さまにお渡しして、保管のお願いをしてください。